

(様式2(1))

v

事業所名 まんでん堂 すま飛松

作成日: 平成 26 年 7 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1①	「寄り添う支援」についての解釈が職員それぞれにある。	「寄り添う支援」を共有化する。	「寄り添い」について職員間で話し合う機会を持つ。 毎月、職員から公募した「寄り添い」かたの具体例を掲げて実践し、それぞれの想いを共有していく。	6ヶ月
2	26⑬	モニタリングや介護計画が漠然としている場合がある。	目標を具体化する。	各居室担当職員を明確にし計画作成担当者と連系をしながらカンファレンスを行ない、具体性のある目標を立て実践に努めていく。	6ヶ月
3	35⑰	スペースの狭さにより災害対策時の食料の備蓄が少なめである。	食料備蓄の増量とそれに対するスペースの確保する。 防災対策を近隣住民の方と話し合う。	食料備蓄を確保し管理に努める。 運営推進会議等で防災について話し合う機会を持ち、地域として防災に取り組んでいく。	6ヶ月
4	40⑱	食事介助の必要なご入居様の人数が多く、職員が食事を一緒に食べれていない。	ご入居様と一緒に食べることのできる機会を作っていく。	作ることも食べることも一緒に楽しめるための工夫をMTGを開催して話し合い、実践に繋げていく。 まずは、食事外出日や食事レクリエーションの日から行なっていく。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。